

\*\*\*\*\*制限事項通知統合版\*\*\*\*\*  
 \*  
 \* 本文書は、NECマイクロコンピュータ技術文書閲覧サービスの開始にあたり、\*  
 \* 既に通知させて戴いておりました制限事項を1つの文書にまとめたものです。\*  
 \* 2002年6月17日時点のすべての制限事項が掲載されています。\*  
 \*  
 \*\*\*\*\*

## NEC マイクロコンピュータ技術情報

<b>78K0S シリーズ システムシミュレータ SM78K0S 使用制限事項の件</b>		発行番号	SBG-TT- 0140号	1/1
		発行日	平成 14年 6月 17日	
		発行元	日本電気株式会社 NECエレクトロニクス システム LSI ソリューション技術本部 マイクロコンピュータグループ	
関連資料	・SM78K シリーズ システム・シミュレータ V2.30 以上 操作編(資料番号 U15373JJ1V0UM00) ・SM78K0S システム・シミュレータ V2.30 使用上の留意点 (資料番号 SBG-TT-0036)	文書分類	① 使用制限事項 2 バージョン・アップ 3 ドキュメント修正 4 その他	

CP(K),0

### 1. 対象製品

SM78K0S

V2.30

### 2. 制限事項一覧

制限事項の履歴とその詳細情報が含まれました制限事項一覧を別紙1に記載します。

以上

## SM78K0S の制限事項一覧

## 1 . デバッグ部

## 1.1 製品履歴

No	仕様変更・追加 / 不具合事項	該当バージョン	
		V2.10	V2.30
		x : 該当する : 該当しない - : 対象外	
1	イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。	x	
2	シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。	x	x
3	ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。	x	
4	トレースサーチ機能の不具合。	x	
5	逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。	x	x
6	オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。	x	
7	ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。	x	x
8	ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。	x	x
9	800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。	x	
10	メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。	x	
11	トレース・ダイアログでの、Add Linkボタンの不具合。	x	
12	プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。	x	
13	メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。	x	
14	プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。	x	
15	ウォッチ・ウィンドウの表示ファイル保存で不正なデータが保存される不具合。	x	
16	ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。	x	
17	文字列の表示が途中で切れてしまう不具合。	x	x
18	アセンブル・ウィンドウで7文字以上のSFR入力がエラーとなる不具合。	x	
19	ソース・ウィンドウに表示されない不具合。	x	
20	シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。	x	x
21	ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。	x	
22	ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。	x	
23	左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。	x	x
24	ソースファイル名に -, + を含む場合、ブレークポイントが設定できない不具合。	x	x
25	デバッグ(シミュレータ)が異常終了する不具合。	-	x
26	カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。	x	x
27	ソースウィンドウにソース内容が表示されない不具合。	x	
28	ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合。	x	x
29	関数の引数が配列のとき、Watch, Local での表示が不正になる不具合。	x	x
30	ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合。	x	x
31	ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合。	x	x
32	SFR 領域は、疑似 RRM できない不具合。	x	x
33	func#var 形式のシンボルをアドレスに変換できない不具合。	x	x
34	IAR 社製コンパイラ / アセンブラで生成した LMF が読めない不具合。	x	
35	実行が止まらなくなる場合がある不具合。	x	x
36	EEPROM 領域が実行中に ** 表示になる不具合。	x	

## 1.2 使用制限事項の詳細

No.1 イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。

【内容】イベント・ダイアログで、アドレス設定エリアに範囲指定に対してマスク値を設定できません。その場合エラーあるいはワーニングを出力しません。イベントはマスクを無視した形で設定します。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No.2 シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。

【内容】シンボル変換ダイアログで SFR ビットを指定した場合、エラーとなりますが、間違ったエラーメッセージ " F002(f), 不正な演算式です " を出力してしまいます。

【回避策】SFR ビットのアドレスは、マップファイルでご確認ください。

【改善策】制限事項とします。

No.3 ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。

【内容】ソース指定ダイアログで行番号の数値の記述が不正である場合、または省略した場合、エラーを表示せずに先頭行に移動してしまいます。

また、行番号がファイル行番号より大きい場合、エラーが表示されず、行移動しません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No.4 トレースサーチ機能の不具合。

【内容】トレースサーチで、範囲指定し、キャレットを終了フレームより後に置き、範囲内の残りを継続前方検索した場合、終了フレームから検索せず、エラーを表示します。同様に、キャレットを先頭フレームより前に置き、範囲内の残りを継続後方検索した場合もエラーを表示します。( f003(W): 既にサーチ範囲を越えています。)

【回避策】サーチ範囲内にキャレットを置いて検索してください。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No.5 逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。

【内容】逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレス「0xFFFF」を表示しません。

【回避策】回避策はありませんが、「0xFFFF」は SFR 領域なので実害はありません。

【改善策】制限事項とします。

No.6 オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。

【内容】プログラム実行中にもかかわらず、オプションメニューの[カバレッジ]は有効になっています。選択しても何も設定できません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No.7 ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。

【内容】ウォッチ・ウィンドウで、構造体、配列等のポインタのメンバーを表示した状態でプロジェクト・ファイルにセーブしても、プロジェクトファイルロード時にはメンバーを表示した状態では表示しません。また、そのときの各メンバー個別の表示進数もセーブしていません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 8 ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。

【内 容】ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合、下向き（ファイル末方向）にスクロールを行うと、余分なスクロールが発生し、画面表示される行番号が連続しないことがあります。また、ソースの最後尾を表示している場合、混合表示ではスクロールを使用しないと最後まで表示することができません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 9 800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。

【内 容】800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 10 メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。

【内 容】メモリ比較結果ダイアログで、デフォルトボタンは「Close」になっていますが、リターン・キーで動作しません。

【回避策】マウスによりCloseしてください。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 11 トレース・ダイアログでの、Add Link ボタンの不具合。

【内 容】トレース・ダイアログで、Open時の Add LinkボタンはDisableになっています。イベントリンク・ダイアログをOpenした場合は、Enableとなります。（ただし、トレース・ダイアログではイベントリンクは使用できないので、本来はAdd Linkボタンは、Disableのままが正しい。）

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 12 プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。

【内 容】プログラム実行中にタイムダイアログをOpenすると、エラーダイアログ「0302(F):ユーザ・プログラム・トレース中です。」を2回表示してしまいます。このメッセージは正しくないので、「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。

【回避策】「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 13 メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。

【内 容】メモリ比較ダイアログで、比較元アドレス範囲または比較先アドレス範囲に違反領域（ガード領域やマッピングできない領域）が含まれる場合、「F201(f),メモリマッピングができませんでした」とエラーを出力し、OKするとメモリ比較ダイアログが消えてしまいます。

【回避策】違反領域を含めないように指定してください。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 14 プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。

【内 容】V2.10より以前の版で作成したプロジェクト・ファイルをロードした場合、エラーを出力しなければならないところ、エラーを出力しません。

【回避策】V2.10でプロジェクト・ファイルを作成し直してください。

【改善策】V2.30で修正しました。

- No . 15 ウォッチ・ウィンドウの表示ファイル保存で不正なデータが保存される不具合。  
【内 容】ウォッチ・ウィンドウの表示ファイルを保存したとき、画面に表示されていなかった変数の値が正しく保存されないことがあります。  
【回避策】表示ファイル保存の前に、ウォッチ・ウィンドウをスクロールして、全ての変数の値を一度表示させてください。  
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 16 ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。  
【内 容】ダウンロードダイアログで、HEXファイルを指定しシンボル情報のみのロードを指定された場合、オブジェクトもロードしてしまいます。  
【回避策】ありません。  
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 17 文字列の表示が途中で切れてしまう不具合。  
【内 容】ソース・ウィンドウ、逆アセンブル・ウィンドウ、ウォッチ系ウィンドウで一行に表示できる文字数は319文字までとなっています(V2.10では、199文字まで表示可能)。そのため 320(200)文字以上の表示は途中で切れてしまいます。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No . 18 アセンブル・ウィンドウで7文字以上のSFR入力がエラーとなる不具合。  
【内 容】アセンブル・ウィンドウでSFR名が7文字以上のSFRを入力するとエラーとなります。  
【回避策】ありません。  
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 19 ソース・ウィンドウに表示されない不具合。  
【内 容】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭に、漢字など2バイトコード文字で始まるコメントを書いているソース・ファイルは、デバッガで表示できません。  
(この現象は2バイトコードに起因するものなので、日本語版 Windows 上でのみで発生します。)  
回避策】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭行のコメントは、2バイトコードから始まらないように、スペース・コードなど1バイトコードを挿入してください。  
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No . 20 シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。  
【内 容】あるアセンブラ・ソース・ファイルでのみ有効なEQUシンボル定義を行った場合、そのシンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できません。  
【回避策】EQU シンボルをヘッダ・ファイルに定義するなど、すべてのアセンブラ・ソース・ファイルから参照できるようにしてください。  
【改善策】制限事項とします。
- No . 21 ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。  
【内 容】void型を指すポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できません。  
【回避策】ありません。  
【改善策】V2.30 で修正しました。

- No. 22 ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。  
【内 容】プロジェクト・ファイルを読み込んだ直後に、[ファイル]メニュー下方のファイル・リストから、プロジェクト・ファイルで読み込んだロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになります。  
【回避策】プロジェクト・ファイルの読み込みでロードモジュールはダウンロード済みです。もう一度読み直したい時は、[ファイル]-[ダウンロード]メニューを使うか、同じプロジェクト・ファイルを読み直してください。  
【改善策】V2.30 で修正しました。
- No. 23 左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。  
【内 容】SFRウィンドウやレジスタ・ウィンドウなどの「データ値表示 / 設定エリア」の横幅が狭いとき、左右矢印キーでスクロール操作すると、「データ値表示 / 設定エリア」の表示が乱れるときがあります。  
【回避策】ウィンドウの横幅を広げて操作してください。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 24 ソースファイル名に - , + を含む場合、ブレークポイントが設定できない不具合。  
【内 容】ソース・ファイルに “ - ” (マイナス) または “ + ” (プラス) を含むファイル名が存在する場合、ディバッガ上でブレークポイントを設定することができません。  
【回避策】ソースファイル名を、 “ - ” “ + ” を含まないものに変更してください。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 25 ディバッガ(シミュレータ)が異常終了する不具合。  
【内 容】ディバッガの仕様では、ダウンロードするロードモジュールと同名で、拡張子が “.tcl” であるスクリプト・ファイルが存在した場合、ダウンロード直前にそのスクリプトを自動実行します。スクリプト内で同ロードモジュールをダウンロードする記述を行っていると、ダウンロードを無限に繰り返してしまい、ディバッガが異常終了してしまいます。  
【回避策】ダウンロード直前に自動実行しないスクリプト・ファイルは、ロードモジュールのファイル名と違うものに変更してください。また、ダウンロード直前に自動実行したいスクリプト・ファイルには、ロードモジュールをダウンロードする命令は記述しないでください。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 26 カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。  
【内 容】カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されません。Survey List に 21 文字以上のアイテムを含め、計 12 アイテム以上追加すると、最下位行が水平スクロールバーに隠れて表示されません。( この現象は、英語版 Windows 使用の場合のみ発生します。)  
【回避策】リストの最後に 1 アイテム以上のダミーリストを追加してください。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 27 ソース・ウィンドウにソース内容が表示されない不具合。  
【内 容】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダに入っているソース・ファイルが、ソース・ウィンドウに表示されない場合があります。  
(ソース内容が表示されていないウィンドウが表示されます)  
【回避策】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダを使用しないようにしてください。  
【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 28 ソースサーチ・ダイアログのサーチファイル機能の不具合。

【内 容】ソースサーチ・ダイアログ内のサーチファイル機能は使用できません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 29 関数の引数が配列のとき、Watch, Local ウィンドウで表示が不正になる不具合。

【内 容】配列を関数の引数として宣言したとき、その配列の内容を Watchウィンドウ、Local ウィンドウで参照しようとする、異なったメモリ位置の内容を表示してしまいます。

【回避策】関数の引数として配列変数を受け取る(参照する)場合には、引数に配列宣言をせずにポインタ宣言を行って、ポインタアクセスを行うようにしてください。

【改善策】制限事項とします。

No . 30 ソース・テキスト・ウィンドウ混合表示時に編集ができない不具合。

【内 容】ソース・テキスト・ウィンドウを混合表示状態にしたとき、ニモニクの編集を行うことはできません

【回避策】アセンブル・ウィンドウで編集してください。

【改善策】制限事項とします。

No . 31 ソース・テキスト・ウィンドウで同名ファイルが表示できない不具合。

【内 容】ソース・テキスト・ウィンドウで開くソースファイルは、[オプション]-[デバッグオプション]の「ソース・パス」に設定されているフォルダ内のソース・ファイルを優先して開きます。

C:¥TEST¥TEST.C            C:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

C:¥TEST¥TEST.LMF

D:¥TEST¥TEST.C            D:¥TEST¥TEST.LMF のソースファイル

D:¥TEST¥TEST.LMF

[オプション]-[デバッグオプション]の「ソース・パス」は、C:¥TEST¥を設定

[ファイル]-[ダウンロード]で、D:¥TEST¥TEST.LMF を開いても、表示されるソースファイルは、C:¥TEST¥TEST.C となります。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 32 SFR 領域は、疑似 RRM できない不具合。

【内 容】SFR 領域は、疑似 RRM(リアルタイム RAM サンプリング機能)できません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 33 func#var 形式のシンボル(func:関数名、var:変数名)をアドレスに変換できない不具合。

【内 容】func#var 形式のシンボル ( func:関数名、 var:変数名 ) をアドレスに変換することができません。

【回避策】 var(変数名)のみで変換してください。関数内 static 変数などで、同名の変数名が他に存在するときは、PC が当該関数内に存在しているときに 変換してください。

【改善策】制限事項とします。

No . 34 IAR 社製コンパイラ / アセンブラで生成した LMF が読めない不具合。

【内 容】 IAR 社製のコンパイラ、アセンブラで生成した、LMF ファイルが読み込めないときがあります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 35 実行が止まらなくなる場合がある不具合。

【内 容】自動継続実行中に[実行]-[スローモーション]を選択すると、[実行]-[ストップ]を選択しても(停止ボタンを押しても)プログラムが停止しない場合があります。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 36 EEPROM 領域が実行中に \*\* 表示になる不具合。

【内 容】実行中は、メモリウィンドウのEEPROM 領域が「\*\*」表示になります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。



## 2 . シミュレータ部

### 2.1 製品履歴

No	仕様変更・追加 / 不具合事項	該当バージョン	
		V2.10	V2.30
1	入力0/1エディタ、入力タイミングチャートのデータ生成機能が未対応。	×	×
2	SMB のアービトレーション機能が未対応。(品種：78916x)	×	×
3	POM レジスタ機能が未対応。(品種：78980x)	×	
4	パワーオン・クリア回路が未対応。	×	×
5	低電圧検出回路が未対応。	×	×
6	イベント&アクションダイアログのTAB キーでの操作の不具合。	×	×
7	イベント&アクションダイアログで SFR 名が実際のものとは違う不具合。	×	
8	割り込みの不具合。	×	×
9	ADCRO , ADCR1 レジスタの不具合。	×	×
10	サブクロックで動作中のタイマ時間に誤差が生じる不具合。	×	×
11	コンパレータ出力にノイズがのる不具合。	×	×
12	PU2 による P90, P92 の制御が未対応。(品種：78940X/78941XX)	×	×
13	uPD789870/F9871 での制限事項。	×	
14	uPD789860/9861 での制限事項。	×	
15	スクロールバーが表示されない不具合。	×	×
16	キーマトリクス端子設定ダイアログでの表示の不具合。	×	
17	入出力パネルのシステムメニューの不具合(WindowsNT のみ)。	×	×
18	入出力パネルを配置モードで最小化した後、元のサイズに戻らない不具合。	×	×
19	SET1 の次の命令が飛ばされる不具合。	×	
20	P23 と P24 が部品に接続できない不具合。	×	
21	16 ビットレジスタ TM9 の上位 SFR が常に ' 0x00 ' となる不具合。	×	
22	トレースサイズ変更時のエラーメッセージの不具合。	×	
23	リセット直後のレベルゲージの設定値が入力できない不具合。	×	
24	リアルタイム RAM モニタ機能により、シミュレータが暴走する不具合。	×	
25	プロジェクトファイル読み込み後、リアルタイム RAM 表示が機能しない不具合。	×	
26	無限ループをステップ実行すると、エラー表示される不具合。	×	
27	TM20 のキャプチャー機能が動作しない場合がある不具合。	×	
28	SET1, CLR1 命令のトレース情報の欠落の不具合。	×	
29	TM8 でカウント処理が不正になる不具合	×	
30	S100 で RXB 値が不正になる不具合	×	

## 2.2 使用制限事項の詳細

- No. 1 入力0/1エディタ、入力タイミングチャートのデータ生成機能が未対応。  
【内容】入力0/1エディタ、入力タイミングチャートのデータ生成機能が未対応です。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 2 SMBのアービトレーション機能が未対応。(品種:78916x)  
【内容】SMBのアービトレーション機能が未対応です。(品種:78916x)  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 3 POMレジスタ機能が未対応。(品種:78980x)  
【内容】POMレジスタ機能が未対応です。(品種:78980x)  
【回避策】ありません。  
【改善策】V2.30で修正しました。
- No. 4 パワーオン・クリア回路が未対応。  
【内容】パワーオン・クリア回路が未対応です。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 5 低電圧検出回路が未対応。  
【内容】低電圧検出回路が未対応です。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 6 イベント&アクションダイアログのTABキーでの操作の不具合。  
【内容】イベント&アクションダイアログでTABキーを押下して次のフィールドへ飛ぶ機能が使用できません。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。
- No. 7 イベント&アクションダイアログでSFR名が実際のものとは違う不具合。  
【内容】イベント&アクションダイアログで下記のSFR名は実際デバイスでのSFR名と異なります。  
デバイス名: uPD78981X  
イベント&アクションダイアログ上のSFR名: IF0, MK0  
実際のデバイスのSFR名: IRF0, IMKO  
【回避策】ありません。  
【改善策】V2.30で修正しました。
- No. 8 割り込みの不具合。  
【内容】割り込みコントローラ周辺ユニットからの割り込み発生タイミングが1命令実行の終わりで発生する場合、出力タイミングチャートに割り込み信号の情報が表示されません。また、複数のノンマスクブル割り込みが同タイミングで発生した場合(多重割り込み)、1つの割り込みしか受け付けられません。  
【回避策】ありません。  
【改善策】制限事項とします。

## No. 9 ADCR0, ADCR1 レジスタの不具合。

【内容】 ADCTLO で ADCR0 レジスタの命令によるリード中に変換が終了した場合は、ADCR0 のリード後に ADCR0 の値を変更する仕様ですが、更新した値がリードされます。  
また、ADCTLO で変換終了時の ADCR0 レジスタのライトと命令による ADM0 レジスタへのライト、ADSO レジスタのライトが競合した場合でも、変換動作が許可されていれば ADCR0 レジスタへのライトは行われ、割り込み信号(INTAD)も発生します。  
ADCR1 レジスタも同様です。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

## No. 10 サブクロックで動作中のタイマ時間に誤差が生じる不具合。

【内容】サブクロックで動作中のタイマ時間に誤差が生じます。

例) 仕様: 500.0 msec 仕様: 15.6 msec  
SM : 498.0736 msec SM : 15.5652 msec

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

## No. 11 コンパレータ出力にノイズがのる不具合。

【内容】コンパレータが "CMPREF < CMPIN" の時に、コンパレータ出力にノイズがのる場合があります。また、コンパレータ出力は、割り込み出力信号に同期しません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

## No. 12 PU2 による P90, P92 の制御が未対応。(品種: 78940X/78941XX)

【内容】PU2によるP90, P92の制御は未対応です。(品種: uPD78940X/41XX)

【回避策】入出力パネルウィンドウの[接続]-[プルアップ/プルダウン設定...]メニューで開くプルアップ/プルダウン設定ダイアログで設定してください。

【改善策】制限事項とします。

## No. 13 uPD789870/F9871 での制限事項。

【内容】μPD789870 / F9871 を使用する場合、下記制限事項があります。

- ・ TM50 の値を読み込むことはできません。
- ・ 割り込み名は以下のように読み替えてください。

INTTM50	INTTM90
INTTM51	INTTM91
INTTM52	INTTM92

- ・ データファイル上では SFR を以下のように読み替えてください。

TMC50	TMC90
TM50	読み込むことができません
CP50	CP90
CP51	CP91

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

## No. 14 uPD789860/9861 での制限事項。

【内容】μPD789860 / 9861 を使用する場合、下記制限事項があります。

- ・ 出力タイミングチャートで存在しません "T04" が "TM0" の兼用端子として見えてしまいます。
- ・ INTWDT (ノンマスカブル) と INTKR1 が同タイミングで発生した場合、どちらかが無視される場合があります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 15 スクロールバーが表示されない不具合。

【内容】部品を配置モードで入出力パネルの端に移動させた時や、入出力パネルへのカスタムメニューでロードした部品が表示しきれない大きさだった場合に、スクロールバーが表示されません。

【回避策】入出力パネルウィンドウをリサイズし、スクロールバーを表示してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 16 キーマトリクス端子設定ダイアログでの表示の不具合。

【内容】キーマトリクス端子設定ダイアログで、未設定端子への設定をしない状態で上下左右移動を続けた場合に、以前入力していた端子情報がクリアされて表示されることがあります。

【回避策】設定してから移動してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 17 入出力パネルのシステムメニューの不具合(WindowsNTのみ)。

【内容】使用環境がWindowsNTの時、入出力パネルのシステムメニューの[メニューの表示]でメニューの削除/復活ができません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No. 18 入出力パネルを配置モードで最小化した後、元のサイズに戻らない不具合。

【内容】入出力パネルを配置モードで最小化した後、アイコンをマウスの左ボタンでクリックしても、元のサイズに戻りません。

【回避策】マウスの右ボタンをクリックし、システムメニューの[元のサイズに戻す]を選択してください。

【改善策】制限事項とします。

No. 19 SET1の次の命令が飛ばされる不具合。

【内容】"SET1 [HL].5"命令の次の命令が飛ばされます。2バイト命令である"SET1 [HL].5"命令を実行するとプログラムカウンタが3進んでしまいます。

【回避策】SET1命令の直後にNOP命令を挿入してください。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 20 P23とP24が部品に接続できない不具合。

【内容】uPD789166/9167/9176/9177/f9176/f9177において、端子P23とP24が外部部品への接続できません。また、出力タイミングチャート、入力0/1エディタの端子名設定ダイアログの端子リストに出てきません。出力モードで1を出力してもすぐに0に戻ってしまいます。

【回避策】ありません。(同製品のY品ならば接続できます。)

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 21 16ビットレジスタTM9の上位SFRが常に'0x00'となる不具合。

【内容】uPD78917xサブシリーズにおいて、16ビットタイマ(TM9)で16ビットSFRの"TM9"レジスタの上位SFRがタイマをカウントアップしても0x00のままです。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30で修正しました。

No. 22 トレースサイズ変更時のエラーメッセージの不具合。

【内容】拡張オプションダイアログでトレースサイズ変更を 3M 以上（マシンにより異なる）にすると「e000(f), 引数が不正です」のエラーメッセージがでて、トレース OFF になります。

【回避策】PC の仮想メモリのサイズを増やしてください。

【改善策】トレースサイズはマシンに依存するのでマシンに見合ったサイズを設定してください。エラー時のメッセージを「トレースフレームのメモリが確保できませんでした」に変更し、エラー時トレース OFF にならないよう V2.30 で修正しました。

No. 23 リセット直後のレベルゲージの設定値が入力できない不具合。

【内容】CPU リセット直後に、入出力パネルのレベルゲージを設定入力しても変換結果に入力値が反映されません。

【回避策】CPU リセット後の 1 命令以上実行した後にレベルゲージの値を設定入力してください。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 24 リアルタイム RAM モニタ機能により、シミュレータが暴走する不具合。

【内容】メモリウィンドウやウォッチウィンドウを開いた状態で、プログラム実行を暫く行くと、暴走もしくは不正ブレークすることがあります。

暴走した場合、強制ブレークしても、その後の再実行で、「ユーザプログラム実行中です」と表示されることがあります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 25 プロジェクトファイル読み込み後、リアルタイム RAM 表示が機能しない不具合。

【内容】プロジェクトファイルを読み込んだ後、メモリウィンドウ等を表示しても、リアルタイム RAM モニタが機能しません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 26 無限ループをステップ実行すると、エラー表示される不具合。

【内容】for や while 文において実行行が 1 行以内の場合、ステップ実行を行うと「e000(F): 引数が不正です」というエラーが表示されます。

【回避策】ありません。

また、「7801(f): Step 終了待ちをキャンセルしました。」のエラーも表示されますが、これは、一定時間ステップ実行が終わらない場合の処置であり、不具合ではありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 27 TM20 のキャプチャー機能が動作しない場合がある不具合。

【内容】uPD789136 サブシリーズにおいて、16 ビットタイマ(TM20)のキャプチャ機能が動作しない場合があります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No. 28 SET1, CLR1 命令のトレース情報の欠落の不具合。

【内容】トレースウィンドウにおいて、SET1, CLR1 命令のメモリライトはトレースされるが、メモリリードがトレースされません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 29 TM8 でカウント処理が不正になる不具合。

【内容】uPD789046/9136/9178/9218/9842/9835/9076/9803/9872/9088 サブシリーズにおいて、TM8 の TM レジスタのリード頻度が多いとタイマのカウント処理が不正になる場合があります。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。

No . 30 SI00 で RXB 値が不定になる不具合

【内容】uPD789014/9026/9418サブシリーズにおいて、SI00のRXBを読んでも不定値です。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正しました。